

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：カウンセリングⅡ 英語表記：CounselingⅡ ナンバリング：2330		単位数：2単位 (半期) 演習	担当教員名：山田耕平 担当形態：単独
科目/系列	保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	/		
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b> 1. カウンセリングの理論を説明できる。 2. ファシリテーターとして、エンカウンターグループを実践できるようになる。 3. ピアヘルピングを実践できる。			
<b>【授業の概要】</b> ピアヘルピングを実践するために必要となるカウンセリングの理論と技法についての理解を深めロールプレイやグループワーク演習、サポート体験を通して実践力の向上を目指す。			
<b>【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】</b>			関連性
<b>【知識・理解・技能】</b>			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			○
<b>【思考・判断・表現】</b>			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
<b>【関心・意欲・態度】</b>			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
<b>【授業計画】</b> 第1回：イントロダクション カウンセリングとは 第2回：カウンセリングの理論と技法① 第3回：カウンセリングの理論と技法② 第4回：ロールプレイ、グループワーク演習① 第5回：ロールプレイ、グループワーク演習② 第6回：小テスト ピアサポートとは 第7回：ピアサポートの導入、計画 第8回：ピアサポートの方法① 第9回：ピアサポートの方法② 第10回：ピアサポートの方法③ 第11回：小テスト ピアサポート体験① 第12回：ピアサポート体験の振り返り 第13回：ピアサポート体験② 第14回：ピアサポート体験の振り返り 第15回：全体のまとめ 定期試験：レポート		<b>【授業時間外の学習】</b> 授業前後には、合わせて1時間程度の自主学習を要する。 ・教科書や授業内で配布したプリントをもとに、前回の内容を確認し、次回の学習内容についても確認しておくこと。 ・カウンセリングの理論、技法について、教科書や授業内で配布したプリントをもとに理解したことをまとめる。 ・ロールプレイ、グループワーク演習、ピアサポート体験を振り返り、今後の課題、改善点をまとめる。	
<b>【授業の方法】</b> 講義、グループ演習、ロールプレイを行う。 授業感想や質問に対してGoogle Classroomを活用しフィードバックを行う。			

<b>【テキスト】</b> 授業中に資料を配布する。	
<b>【参考書・参考資料等】</b> 『ピアヘルパーワークブックーやって身につくカウンセリング練習帳』 日本教育カウンセラー協会編 図書文化社	
<b>【学生に対する評価】</b> 授業参画度(30%)、小レポート(20%)、期末レポート(50%)。ルーブリックに基づいた評価を行う。	
<b>【履修上の注意】</b> 受講にあたっては、事前事後の学習を行い、グループ演習やロールプレイには積極的に取り組むこと。事前に「カウンセリングⅠ」を受講していることが望ましい。	
実務経験の有無：有	実務経験：臨床心理士・公認心理師精神科クリニック・生活困窮者支援・学生相談・幼稚園巡回相談 等
<b>【実務経験を生かした教育内容】</b> 精神科クリニック心理士としての勤務経験を活かして、実践的なロールプレイ等を取り入れて演習を行う。	